

2002年11月号

Enfanter ● No.283

あんふぁんて

Enfanterとはフランス語で

①子を産む ②(計画などを)考え出す ③(作品などを)創り出す、の意



【特集】

あなたはよその子の面倒をみられますか？ P2

・少子化社会に対する意見 P8 ・新入会員自己紹介コーナー P10

・あんふぁんてからあんふぁんてへ P11 ・情報コーナー P12

【特集】

あなたは

よその子の面倒を

見られますか？



私には近所にママ友はいるけれど、子どもの預け合いをしたことはありません。それは、預け合いのことを口に出すのに勇気がいるし、遠慮があるから。

私に限らず、今はよその子とどうつきあうた方がいいかわからない人が多いようです。先日子ども連れで集まっていたお母さん達が、「自分の子を預けるのはいいけれど、よその子を預かるのはちょっと」という会話をしていたので、気にかかっていた。その後そのメンバーと話つきつかけを失ってしまい、寂しい気がしています。

この特集をきっかけに、自分の子どもを含めたよその子どもについて、他の人がどう思っているか知りたいと思います。そして、一緒に預け合いをする仲間がみつければ、と願っています。

(小澤)

アンケート回答

1 あなたはよその子に関心がありますか？

はい 26人

いいえ 4人

■はいの人・特にどんなことに関心がありますか？

- ・漠然と、うちの子と一緒に遊べるかな程度
- ・どういう性格の子ともか、どんな事が得意かなど
- ・よその家、よその子のしつけ、遊び方、兄弟の育て方、いつ、どんな時怒ったり注意しているか知りたい
- ・のびのび楽しそうにしているかどうか
- ・家の手伝いをどの位しているのか
- ・生き生きとした感じが。悲しそう、つらそうでないか
- ・しつけ、礼儀
- ・かわいいなーと思ったり、自転車で車道を走っていたら注意したり。うちの子(二人とも男)を見ていてとても危なっかしいので、ついよその子も危ないことをしていると気になる
- ・性格の違いや、いろんな子どもの個性について見ているとオモシロイ

■いいえの人・それはなぜですか？

- ・全く関心がないわけではないが、時間も体力も自分のことで、せいっぱいで、今は余裕がないから
- ・子どもが独立し、子どもとかわる事がなくなってきたので

3 あなたはよその子や親と交流がありますか？

はい 26人

いいえ 3人

3-1 はいの人・主に戸外で交流しますか？

はい 18人

いいえ 2人

■主に戸外で交流するのはなぜですか？

- ・近所だとあまりべったりになるとうっとうしいから
- ・互いに気兼ねなくいられる
- ・うちの子が戸外が好きなので
- ・我が家があまり片付いていないので外の方が気楽
- ・自宅が出入りが多く、予定をたてて人様をお呼びできない
- ・以前は家へよんだりにしていたが、よんばかりでは迷惑になると思うから
- ・家の中では迷惑になると思うから

■いいえの人

- ・子ども同士の交流は、やっぱりゲームが主になってしまっているので室内のことが多い
- ・戸外で交流する必要と時間がなくなった

3-2 はいの人・お互いの家を行き来しますか？

はい 13人

いいえ 8人

■お互いの家を行き来するのはなぜですか？

- ・天気の悪い日もあるし、家で親同士お茶でもしたい時もあるから
- ・子どもには友達がいって、子どもが連れてくる
- ・どうしても外遊びよりゲームなどをするのとが多いから。相手の家ばかり行くわけにはいかないから
- ・お友達の家に行った次は我が家：みたいな暗黙の了解的な物があるから

■お互いの家を行き来しないのはなぜですか？

- ・親どうしのベッタリした関係はイヤだから
- ・もう小学生以上になってしまっただけで本人たちが勝手に遊んでいるから
- ・幼稚園の友達との交流が主なのだが、うちは園から遠く、当然友達の家も遠く
- ・自分の家へよんでも、よばれないから
- ・気を使うので疲れてしまう

3-3 いいえの人・それはなぜですか？

- ・全くないわけではないが自分からは働きかけない。疲れるから。子どもを通してのママさんたちのおつき合いが面倒くさいと思ったりする
- ・子どもたちが大きくなり、自分中心(大人の大人同士の関係や生活になって(仕事)子どもとの繋がりはない



・面識のないお子さんには特に関心はない

2 あなたは子どもに友達がほしいですか？

はい 26人

いいえ 1人

■はいの人・そのためにどんなことをしていますか？

- ・できるだけ、子どものいそうな所に連れ出す
- ・幼児期は、親子でのサークルに入ったりした。後は公園通い
- ・地域の行事に親子で出かける
- ・あんふぁんてをやった
- ・なるべく家をオープンにして、遊びにきてもらう
- ・預け合い
- ・サークルを作った
- ・子どもの連れてきた友達ではできる範囲で受け入れてあげる。家の中あちこちあけたり、飲み物やおやつを要求したり、「こんなおやつ好きじゃない」と言ったり、時間にルーズだったり受け入れたくない子もいる
- ・子どもが小さかった時は、人形劇とかフリマとか企画して人を集めた。少し大きくなったら、自主保育グループに参加した
- ・時々、幼稚園、保育所の園庭解放に参加している。友達がほしいからというより、集団で同年代の子どもたちと、ふれあってほしいから
- ・親どうしで仲のよい様子を見せる
- ・特にしていない

4 あなたは子どもがよその子とトラブル、(おもちゃの取り合いや相手を叩いてしまふなど)になった時、あなたはどのようにしますか？

- ・見守る。本当にあぶないかぎり(凶器をつかってたたく)やらせてみる
- ・トラブルっている子ども達の周囲の危険を確認し(押されてたおて頭を打ったりしないよう)さりげなく、弱そうなお子の後にまわったりするなど安全確保し、ある程度、当事者の子ども達にまかせ様子をみる
- ・叩いたり、かんたりに注意していた。取り合いについては、同年齢なら様子を見ていたが、明らかに年下の子が相手の場合には取り合いのやり方に注意することもあった。事前に介入して止めてしまえば、親は気が楽かも知れないが、子どもは体験して学ぶ機会を失ってしまうと思う。たとえ嫌なことでも
- ・まず、自分の子をたしなめて(相手の子の気持ち伝える)、相手の親子に声をかける。(特に子どもには、あやまっておく)
- ・相手の親を気にして、自分から謝ってしまうかもしれない
- ・自分の子を責めがち
- ・自分の子が悪い時は大声でしかってしまいが、どう見ても相手の方が悪い場合は、なかなか注意しづらい。(「だめだよ」くらい)なるべく平等にしかなくて、と思うが。あと、相手の親もまきこんで、ということはない。今のところ、本当に「子ども同士のちわげんか」のレベルなので

- 6 自分の子がよその親に注意されたら、どう思いますか？
- 本筋に筋の通った理由なら、ありがたいと思う。子どもがはつとするので
 - ありがたいと思う。後で子どもにも状況を聞く
 - 適切な注意であれば、ありがたいと思う。相手に注意をさせてしまう前に注意できない自分を反省する
 - 危険な場合はありがたい。今となっては、小四の息子など、注意してもらったおかげで、どれだけ助かったかと思う。今でも助かることがまだまだ多い
 - 大歓迎
 - ありがたいと思うことが多いが、理不尽に注意されるとムカつく
 - 納得いくときは、同じことを注意した。相手の親とコミュニケーションをとった
 - 自分の注意する分が減ったと思う
 - 注意の内容やいい方にもよるが、いけないことは注意してもらいたい
 - あまりいい気分はしないが、地域の人達にも一緒に育ててもらっていると思えば納得する
 - よくぞ言ってくれたと思う時もあるが、先に注意しなかった自分が責められているような気持ちになることもある
 - 今時、そういう場面はへりつつあるので、ありがたいと思う。他人から注意されるって子どもにとっても貴重なことだと思うし、されるべきことなら、ありがたい。が、自分から見ると注意すべきことでもない、と思える場合もある

- 7 あなたはよその子をトイレに連れていくとか、ちょっとした間見ているなど、面倒を見られますか？
- はい
- いいえ
- 29人 1人
- ああ、そうだな、よく見てくれてありがたいなと思う。かな。何もそんなことで怒らなくてもーと思うかも
 - はいの人・それはなぜですか？
 - ただ、できるだけ。自分の子のせわもできなし
 - なぜといわれても、あんふぁんての昔からテイクアウトできる
 - お互いさまなので
 - 自主保育をやっていたこともあったり、自分がやっていたいたりして、おたがいさまなので
 - 逆の場合、そうして欲しいから
 - 自宅で誰がどこの子かわからないような育て方をしていたので、慣れている
 - 戸外で一日と言われればしんどいが、自宅ですら半日なら大丈夫だと思う
 - いいえの人・それはなぜですか？
 - トイレはどうかかなという感じ。特に男の子の場合、小さいと立ってできなかったりして、とまどってしまいう



- 8 あなたはよその子を預かりますか？
- はい
- いいえ
- 24人 5人
- 8-1 はいの人・それはなぜですか？
 - 自分も預かってもらって、とても助かっているから
 - 自分の子も楽しいから
 - 近くに親類などのない状況の中で互いに助け合って生活せざるを得ない住宅生活で預け合いは日常だった
 - 自分の子も、よその家に遊びに行ったり、どこかへつれていってもらったことがあるので「お互いさま」という感じ
 - 自主保育して預けあいの経験があったから
 - 子ども同士がよく遊ぶから
 - 私も預かって欲しかったし、預けあいの必要があったから
 - 子育ての自主グループで活動して、親子同士で集まっていたから
 - 子どもの友人など、行動も性格もある程度のみ込めているので
 - 子どもは色々な人にかわいがられるべきと思うから
 - 8-2 はいの人・預かった時、どんな事に気付きましたか？ また、どんな事が大変でしたか？
 - しつけのできていない子（勝手に冷蔵庫をあけるとか）に対して、いちいち注意しているとホントこちらの方が落ち着かない！

- 時と場合によって。様子を見ている時と口出しをするときがある。すぐ反応しない
- なるべく公平な目で見て注意する
- 子どもに言い聞かせて納得させる
- まずひきはなして、両方の言い分を聞いた
- りする。特にヨソの子の方に。聞いてるうちにおさまることが殆どだが、あとで自分の子にはフォローしないとスネる
- その子の親と、どうするか話しあう。子どもに対しては、とりあえず、わけ入ったりしない
- (どうしましたか？と過去形) 両方の子ともをしゃかり、客観的に判断して対処しようとする。しかし、あまり深くは追求しない。相手の子には優しい顔をしてしまう。親同士でどうしてトラブルになったか、話し合いができる関係であるか、ないかもかわってくる



- わたし自身、過去、全てのトラブルは自分の子どもの原因（元氣すぎる子どもだったため。）と決め付けて自分の子どもだけをビシビシ怒っていた事がありました。
- が、たまには（？）両成敗な時もあったはず。
- ごめんね、息子よ。ゆがまないでくれ（松下）

- 5 あなたはよその子がいじわるをしたり危ないことをしている時、叱ったり注意したりできますか？
- 5-1 あなたの家で遊んでいる時なら？
- 一対一なら、いじわるしても知らん顔。多勢に無勢なら様子を見る。危ない事をしてる時は注意する
 - 親がみていても、弁明できるよう、よく考えて叱った
 - 危険な時は注意する。幼い子の軽い悪意がないようにいじわるは気付けば他のことに目を向けさせる。悪意を持って、人を傷つけるようなことをしているのに気付いた時は、注意する。場合によっては叱るかも
 - 下の子（4才）の友達の時、けっこう厳しく言えるが、上の子（8才）の友達に対しては何となくしかりづらいうことがある
 - 私は「ここが困る」「こうおもう」というスタンスで伝える
 - できる（自分の子よりは優しく、でもきちんと叱ることはできるかどうか）
 - 「危ないからやめなよ」とか「そういうことしたらお友達が悲しいよ」といったソフトな声かけぐらいしかできないと思う
- 5-2 スーパーや公園などに行った時なら？
- 自分の子どもにいじわるをしたら口を出すあぶないコトは内容により声をかける
 - 危険な時は注意する
 - 公共のルールを考えて注意した
 - 「危ないこと」の時は言えると思うが、「イ

- 5-3 相手の親がそばにいる時なら？
- 親がいても見ていないことが多い。あまりにひどい時は当然注意する
 - 相手の親が注意すれば何も言わない。相手の親が注意しなければ、やっぱり注意する
 - まず親の方に話してから一緒にいうようにしたが、うまくいったとは限らない
 - 多分、言えないし、言わないと思う
 - 注意はできるが叱れない
 - 相手の親の性格による
 - あまり程度がひどいなら声を出すとおもうが、その子の行動で困っていることを具体的に伝えるしかない
 - だましている
 - やんわりと子どもに言う
 - まずは黙っているが親があまり無神経なら言うかも
 - 叱る。たまにヘンな目で見られているようにケースバイケース。相手の親の様子をみてしまう
 - 「ジワル」の時は言えないと思う
 - 見かねる程のことをしていたら、よその子でも注意すると思う
 - 年齢や状況によってできないときもある。幼い子ならできるけど、中高生だと場合によってはできない
 - よその子の親がいなかったら叱る
 - 目に余る場合はする
 - スーパーでは見て見ないふりかも。近所の公園で知っている子ならできる
 - 自分の子と係わりがあった時は。又は私の視界近くにいれば、イエス

私の理想は、友達を求め、チャンスをつかみ、友達を作ること。徐々に親しくなり、トラブルが起きても友達関係にヒビが入る心配がなくなったら、預け合いにステップアップというもの。理想を思い描くのは、簡単だけれど、預け合いに到達出来るのか？と尋ねられると、不安な私。アンケートの答えの中でも、預け合いをしてみたいけど不安を感じる派と、楽しいから是非やってみたいという経験に基づき賛成派が沢山いました。

私を含む不安派が、不安だけで楽しみを経験しないのは、もったいない気がします。公共機関、あんふぁんてが、仲間作りをサポートしてもらえたら…なんて、密かに期待している私です。

スタッフの感想



本橋

たかが「預け合い」から、なんてたくさん問題が発生するのだから、この特集を担当して思いました。自分自身のことなら、何とかクリアしていく人間関係のいざこざも、自分の子どもが関わったら頭を抱えずにはいられない…という。そして何よりむなしさを感じたことは、親がこんなに悩んでも、お子様達は「知ったこっちゃない」ってところで、ほんとにむなしですなあ。

来春、子どもが幼稚園に入園なのです。考え方の違うお母様達となぜか関わることに…って、お子様達を「預け合い」たりして、そして今回の会誌を読み返して、「ああ、このことだったのね」と実感することになるのでしょうか。首を洗って待っています。

松下

今回の特集に携わって「私ってよその子を注意したことってあったかな？」と改めて考えてみました。はっきり言ってほとんど無いと言った方がいいくらい。どうしてだろう？相手の親と気まづくなるんじゃないか？という恐れがあったから？自分の子どもが注意されて正論ではあったけど、その言い方が気に入らなくて少々むかついたことがあったから？でも、アンケート結果を見て、多くの方が「注意する。できる」と答えていて正直恥ずかしくなりました。

これからは見て見ぬ振りではなく、自分の子どもと同じように見守ることができたらいいなあと思いました。

棚田

自分が今、必要性を感じているテーマだったので、特集を組んでみたのですが、アンケートの統計をみて、地域、近所のコミュニケーションが成り立たないと今の時代では難しくなっていると思いました。

でも、もっと気軽に子どもを預け合えるような近所関係を作っていきたい。

小澤

私には九ヶ月になる娘がいます。初めての出産で、最近になり少し育児について、振り返る事が出来るようになってきました。

ここまでは、長いトンネルを、一気に走りぬけてきたという感じで、「預け合い」という発想は、考えもしませんでした。今回の特集で、様々な意見を通し、預け合うことで、他を知る事にもなり、それが自分や子どもの成長するチャンスにもなる気がしました。

子ども達は親だけでなく、地域や多くの中で成長していくのが、自然です。しかし現実的な状況は厳しいです。私の住む所は下町なので、御近所付き合いを大切にしています。まずは相手をよく知り、信頼できる親や近所の関係が預け合いの、ポイントになると考えています。



●親のしつけの方針みたいなのがある。なかなか帰ってくれない時。用事がたくさんあったりするとツライ

●平日頃つきあっていて慣れているようでもいざ親と離れひとりで預けられると泣くこともあるということ。そして、どんなに泣いても納得すれば泣きやむということ

●自分の子どもと行動パターンが違うので、思いがけない危険な事をする点。ケガがない様に気を遣った

●どこまで預けたらを見送したらいのか。よその子を叱るのがなかなかできない

●自分の子と預かっている子どもが複数で遊びの行動がバラバラになったとき、事故がおきないように、子どもたちが楽しんでいけるかなとか、つまらないのかなと皆を見ている大変だった

●預かる前に、預かっている間は、我が家の基準で我が子と同じ事で注意したり叱ったりすることを相手の親からも、子どもに伝えてもらう。そうでないと、注意されても何が理由か子どもに分からないことがある。大変なことではない。他人の子は客観的に見られ、ゆったりする

●8-13 いいえの人・それはなぜですか？

●実は子どもは苦手

●相手の子の保護者のいない状態で長く預かるのは不安

●今は自分自身のやりたいことがたくさんあり、体力も心の余裕もないから

9 あなたは預け合いについて、どう思いますか？

●親同士の信頼感が一番大事な気がする。それを得る為に時間やチャンス(機会)を作ることが大変。どんどん預け合いしたいと思うけど

●いいとは思いますが、相手の親と(よく)話の出来る関係でないと何かトラブルがあった時に困る

●以前やっていたが、自分が成長したかな。あーこういう子もいる、うちの子もつうだナンテ

●お互いいい勉強になる。どんどんやったらいい

●どんなにやたらいいと思う。親も子どものいいもの

●できれば望ましいと思うが、自分は預ける回数の方が多くなってしまうので、できない

●育て方が違ったりするので親同士が仲良くないと思ってしまう。以前住んでいたところでは、どんどんやっていたけど、今の環境では無理

●家庭により良い悪いの基準がちがっている。その家々のやり方が違うことがわかって、とてもよいと思う

●預け合いは良いと思う。けれども子どもの気持ちも考えてみて、預け合いの後の子どもが楽しそうにしていたかどうかの様子をちゃんとみてほしい

●保育の知識もなしに預かるのは不安。保育士の資格は取らないまでも、なにか勉強してからなら預かってもらいたいかなと思う

●預け合いに参加して本当に良かった。我が子だけと暮らすのは苦しかった

●した事はないが、預け合いに参加してみたい気もする。でも、自分の子どもの事だけでなく手がたらないと思っている私が大丈夫？とチョット不安でもある

●核家族で、実家も遠い私にとって、預け合えるのはとても助かる。精神的にも「預ける場所がある」と思えるのはよい事だ

●いいことだと思う。いろんな人たちにふれあって、いろんな人の手で子どもは守られるべきだと思うから。でも自分が預かるとなると…なかなか思い切れない

●預け合い。子どもを持つ親としてどうやら無視の出来ない子育ての「通過点」になるらしいです。しかも親が「助かる時」もあれば、「ストレスの原因」にもなるらしい。

●うわー、えらいこっちゃ。自他ともに認めるめんどくさがり屋のわたくしとしては、せひともグッシューで逃げたいところですが、どうやら先輩ママの言うことには、親同士子ども同士が関わり合う以上は逃げて逃げても逃げられないようです。

●うーん、困った。来年から家の子、幼稚園だし。価値観の違うお母さんともたくさん出会うことになるわけだしね。でもさ、預け合いが出来ると仲の友人が存在するっていうのは歓迎すべきことなのかもしれないし。そこから何か学べるかも

た厚生労働省のさまざまな施策はうれしい限りで、とても期待していますが、すでに行われているファミリーサポート制度をもう一歩進めた形で、無料で全員にリフレッシュ休息や夫婦で出かけるのための一時保育をうけられる制度はできないのでしょうか。全国いっぺんにでなくても、どこかの市区町村で試しに取り入れてくれる所はないでしょうか。それを使うか否かは別としても、社会や行政がそこまで理解し、応援してくれるという安心感を得て肩の力がぬけ、きっといい結果が出ると思うのです。①でも述べたように個人ベースのものの方が今の世代は反応があるはずです。

③ 子どもの預け合いができる場所がほしい！

私たちのグループは1975年に『子どもを互いに預けあって自分の時間を持とう！』と新聞でよびかけて始まったこともあって、いろいろな預け合いをしてきましたが、とにかく場所がないのが一番の悩みでした。最近の子育て支援策のおかげで、乳幼児を連れて相談に行ったり、遊びに行ったりする所はずいぶんと増えましたが、ほとんどの所は親が1対1で付いていないといけないという条件があります。『預け合う』ということの意味は、気持ちのリフレッシュや自分の時間をつくるだけでなく、他の子どもをみることで自分の子どもや育児を見直すことができること、子どももいろいろな大人や子どもとの関わり方を体験できることなど、親にとっても子どもにとっても成長することにあります。その点がファミリーサポートやベビーシッターに預かってもらうのとは異なりますが、最近では預け合いへの欲求もずいぶん減りました。その理由の一つに場所の問題もあります。今までは人数が少ない時は各自の家のまわりもちが多かったのですが、個人の世界を大事にする今の世代にはこれが負担となっていることが考えられます。ですからおもちゃや遊び道具が用意され、子どもにとって安全で広く、規制のないなどの（これら託児室に関しては黄色い別冊子をご参考ください）子どもを預けあうことのできる公共の場をつくってほしいのです。

④ 若い世代のときから子どもと接する機会を！

核家族だけの密室育児の弊害を痛感する私たちですが、これからの世代にはもっと子どもと接する機会があった方がいいと思います。最近の活動では赤ちゃん連れで高校に行って子育ての体験談をするということがありましたが、とても当の高校生たちの反響があり、これらはもっと実施されてもいいと思います。子育てボランティアに若い子育て未経験者が加わることもいいと思うので、これからの活動で取り組みたいと思っています。

⑤ パート労働者にも育児休業制度が可能になるといい！

出産後に働く時、元の職場にもどれるなんてごく一部の恵まれたケースにすぎません。多くは子どもの健康状態や家庭の事情、子どもと接していたという本人の気持ちなどから、パート勤務になることが予想されますが、子どもの病気などで休む場合、正式に認められた育児休業制度で保証されるべきではないでしょうか。パートの条件整備の中にぜひ加えて欲しいと思います。

◆私たちの意見を少しでも取り入れてもらえたら…と願っていますが、2002年9月末現在、厚生労働省からの返事はありません。



◆この文章は、厚生労働省の『少子化社会に対する意見』募集に対し、会として提出した意見書の内容です。

(7月号&10月号情報コーナー参照)



「少子化社会に対する意見募集」への私たちの意見

私たちは1975年3月に新聞の情報欄の呼びかけで始まった、会員数延べ7000名の「あんふぁんて」という主に子育て中の女性のグループです。（詳しくは同封の本3冊および会報・資料等をご覧ください。）まさに少子化問題の当事者世代であり、27年間さまざまな試みをつづけてきた中から気づいたことを提案・希望したいと思います。

① 夫の立ち会い出産を積極的に支援してほしい！

今年の3月に東京都の助成金を得て出版した『21世紀のお母さんお父さんに贈る—【お産サイドブック】』をまとめる中で気づいた一つは、夫の立ち会い出産は夫婦での子育てをスムーズに進めるということ。それぞれ夫の勤務先などの事情が異なることはもちろんありますが、できるならば病院等での受け入れ体制・姿勢をもっと積極的にしてもらえないでしょうか。病院側の立場にしてみれば、夫との対応や衛生面など余計な負担が増えるわけですが、例えば、夫の立ち会いに対して保険の点数を加え、かつ何らかの助成金や手当てなどを出すなどではできないでしょうか。

子育てへの不安や孤独感、最近では虐待してしまうのではないかとという逆のプレッシャーも大きく、それらを少しでも減らし、虐待を防ぐことが少子化問題対策として必要ですし、具体的な制度として形にして示すことが求められていると思います。その一つとして、夫との関係をつくるきっかけとなる出産はとても大事なポイントです。特にこの世代は広く地域や社会とのつながり感が希薄で、ひきこもりとまでいかななくても個人・自分をとて大事にする感性を優先させ、人間関係も狭く、夫婦だけで閉じこもりがちなのですから。

② 専業主婦向けのリフレッシュのための一時保育制度の設置を！

現在では東京都内各区をはじめとして、ファミリーサポート制度などの多様な保育制度も行われていますが、例えば育児に煮詰まってしまった気持ちをリフレッシュさせたいなどの理由では使えなかったり、もしくはそんな理由では…という窓口での雰囲気だったり、民間のベビーシッター会社に頼めばいいという考えだったり、我慢が足りない・甘いというニュアンスだったりします。しかも有料、1時間500～1300円では諦めざる負えないところです。これらの若い世代への無理解、共感のなさ、むしろ批判めいた視線はこのファミリーサポート制度だけの問題ではなく、子育て経験主婦によるアドバイス事業やシルバー人材センターによる子育て事業などにも懸念されることであり、サポートする側への事前教育の必要性があると思います。

また最近の少子化施策においては、仕事と子育ての両立のためのものが多いけれど、保育所が圧倒的に足りない現在では専業主婦が多いわけだから、そのための保育が考えられてもいいのではないのでしょうか。そのためには従来の「保育に欠ける」の保育とは異なる発想のものであるべきだと思います。例えば「より人間的であるための」など、新しい「保育」の概念づくりを専門家にのぞみたいところです。

その専業主婦たちの密室育児には風通しのよさが必要です。その意味では今回発表され

台湾から定期的にメールにいろいろなお知らせが来ていたが、こちらで契約したプロバイダーが大手会社に吸収合併されたりと混乱が続く、メールアドレスも度々変更してしまっていたので、「あんふぁんて」への連絡もとぎれたままになってしまっていました。大変失礼いたしました。

今年四月より、日本人学校の本部役員になりました。小中学部あわせて八五〇名の本部という事で、何かと忙しくしております。

近況報告 その2

台北市

スタッフの皆さま、この間は（…）といつてもう何ヶ月も前のことになってしまいました（…）。出産のため、わざわざ実家に会報を送ってくださった本当にありがとうございます。それだけでなくもお産の本のことでもいろいろお忙しいというのに、一人の会員のためにこんな風に温かい心を届けてくださって、とても嬉しかったです！

おかげさまで六月五日に無事次男を出産し、今は子育てドアップの日々を送っています。もっと早く「ありがと」の言葉を言いたかったのですが、とにかく毎日ドタバタあわただしくて、今ごろになってしまいました。

近況報告 その1

尾花市

あんふぁんてから
あんふぁんてへ

その合間に中国結びを習ったり、茶藝教室でいろいろな種類の烏龍茶を飲んだり、台湾での生活を楽しくしています。

多くの台湾人は日本に対して好意を持って接してくださるので、本当に暮らしやすいと感じられます。飛行機で三時間、時差は一時間という近い国です。機会があれば台湾に遊びにいらしてください。

リレーコラム「あんふぁんてって何？」

わたしのあんふぁんて活用法 その1

さいたま市

わたしは、あんふぁんてが大好きです。今年大学生になった娘を産んでオタオタしていた頃、あんふぁんてに出会いました。先輩達のバワフル・ワイルド・リラックスした子育て・自分育てが魅力的でした。

わたしがあんふぁんてで覚えたのは、

- ①自分の書いた文章を読んでもらう楽しさ
- ②仲間と企画をする楽しさ
- ③本音で語れる安心感

でもね、少しは自分で動かないと得るものは少ないよね。そこで、

①とにかく行動する（評価されないから安心、難しく考えないこと）

②本音で語る

が、わたしのあんふぁんてとの関わり方だと思っています。その結果、気がつく自分の居心地の良い場所になっていたのです。

●あんふぁんては、会費のみで運営している会。会費の支払いがまだの方は、至急振込をお願いします。会費が切れても本人から連絡がないと、退会や休会の措置がとれません。休・退会、転居の際は、事務局まで連絡を。

○『赤い鳥』連続講座（豊島区教委嘱託級）

第一回 『赤い鳥』の時代に生まれて

11月27日（水）1時～3時（エポック10）

講師・和田淑さん（和田実学園園長）

子連れ可、定員親子15組

第二回 『赤い鳥』をいける 錦花池坊生け花

11月30日、12月1日 11時～3時

（目白庭園 赤鳥庵） 零演奏1時

11時～生け花無料体験・各10名 要予約

※切11月28日 三回目予定は先月号参照

事務局から

●パソコンスタッフを募集します。遠くの方はホームページ作りや原稿入力を、東京周辺の方は事務局での作業を手伝ってほしいので、機械に強い人、至急連絡ください！！

●10月末の会員数は309名です。

スケジュールメモ

11月18日（月）ミーティング（事務局）

12月9日（月）ミーティング（事務局）

12月16日（月）12月号発送作業（事務局）

ミーティングや発送は11時～3時子連れ可

井当持参、参加者は事前に事務局まで連絡を。

◆◆◆
新入会員

自己紹介コーナー

◇入会半年！一年くらいの会員対象の
ハガキアンケート回答より◇

あんふぁんてを知ったのは、「ちいさい・おきい・よい・つよい」に本が紹介してあったのと、ホームページを見て。会報などで取り上げたいのは次のテーマ。

- ・こだわり出産
- ・周産期医療と赤ちゃんの誕生
- ・臨床心理士の仕事
- ・アドラー心理学
- ・アサーショントレーニング
- ・自主保育又は自主幼稚園

今年からいろいろなことを始めて、自主保育の会を始めたのもその一つ。その中で地域の人々と様々なつながりができたのは、大きなものがあります。

★（名古屋市）

あんふぁんてのことは、名古屋の子育て支援グループ発行の冊子で知りました。他の会員さんのことは全く知りませんが、八月には、北海道の実家に帰省できます。うれしい！

★（浜松市）
新聞で「あんふぁんて浜松」の紹介記事を見て、会のことを知りました。すぐ近くに会員がいるので、時々顔を合わせたり、電話をしたりしています。

あんふぁんての会報を読んで、刺激をもらっています。

会員の小澤 さんに、会の事を教えてもらいました。近くの会員に葉書を出したところ、その後葉書や電話・FAXで返事をいただきました。「としま・あんふぁんて」の方々とはお会いすることもできました。

今気になるのは、子どもの教育のこと。学校のことだけでなく、習い事にいくらかかるかと、うちの子どもはなにに興味があるかといったことです。

四月に娘が幼稚園に入ってからというもの、なんか忙しい。夏休み中は、ほぼ毎日スイミングスクールに連れて行かねばならないし、二学期は行事も多いので、「幼稚園に入ったら楽できる」と思っていた春先の私の思いは、こっぴどみじん！

友だちから誘われて入会しました。地元の公民館でネイアートサークルを主催しています。子どももある程度大きくなったので、お近くの方、ランチやお茶など、ご一緒にしませんか？



「うちの子よその子」という本であんふぁんてを知りました。今は会員がやっている交換ノートに参加しています。

我が家では日常的に子どもを怒っています。皆さんがどんな時どんな場面で怒っているか、教えてほしいです。最近では怒りすぎを反省して、カレンダーの裏紙に「大声を出さない、手を出さない」と書いて、部屋と台所に五枚ほど貼っています。友人が来る日ははがします。

先日は事務局まで切手貼りに行きました。チビッコと一緒に（？）あまり役に立ちませんでしたが、私にとっては楽しい時間でした。今度は出来たらチビッコは置いて伺いたいと思っています。

★原稿募集!

◎「再就職のはじめの一步」きっかけは何?

出産を機に専業主婦になって十年。ここ数年子どもの入園、入学を機に再就職する友人がぐっと増えました。「○○さん働き始めたよ」という話を聞くと、なぜか取り残されたように感じてしまいます。私自身子どもが成長し仕事に出られる状況にはあります。「やりたい」と思う仕事もあります。でもその仕事の求人は皆無。他の仕事をとも考えますが、何がいいのかわからず、それなら家にいたほうがいい...と思ってしまうのです。

あんふぁんて

再就職の動機は様々だと思いますが、最初に何を契機に「再就職」を決心するのでしょうか。また、何を基準に、どの辺で折り合いをつけて仕事を選ぶのか等聞かせてください。結婚・出産に関わらず仕事を続けている方、また、専業主婦の方もそれぞれの立場から意見を聞かせてください。小諸市

◎「自分の歳」を意識するのはどんな時?

年齢のせいとかどうかは分かりませんが、現状に疑問を感じたり、迷っている時には同じ年齢の人がどうしているのか気になったりします。忙しくて「自分の歳なんて忘れちゃった」ということもあるかもしれませんが、ふと「自分の歳」を意識した時とはどんな時なのかいろんな人から聞いてみたいと思います。

さいたま市

※両テーマとも編集スタッフ募集中! 原稿は事務局までFAX又は郵送でお願いします。

★子育て広場トライアル

11月27日(水) 10時~12時エポック10保育室・会議室(池袋駅隣メトロポリタンプラザ10階)にて *子連れの人は15分前集合 1時までタウンワーク報告と引継ぎAコース・子どもと一緒に遊ぶ

(保育経験者を交え、自分の子もよその子も一緒に遊んだりおしゃべりします)

Bコース・子どもと離れしゃべりB(場)

(テーマを決めて大人だけで話します。A

Cワークシヨップや座談会の時もあり。)

Cコース・子どもを預けてタウンワーク

(子どもと離れて行きたい所にGO!)

費用:資料・保険代(大人一人500円)

保育料:子ども一人200円(保育カード・

保険証・子どもの昼食・着替えが必要)

申込:11月20日(月) 事務局まで

保育定員:7名 *初回はAコースから

Bコースは大人のみの参加歓迎。

★子どもの食について:幕内秀夫講演会

《丈夫な子どもを作る基本食》

子ども達の健やかな成長には、ご飯を中心とした和食が大切。『粗食のすすめ』シリーズ著者の幕内秀夫さんにお話を伺います。

日時 11月17日 午後2時から4時

場所 北区十条台ふれあい館(JR赤羽駅

よりバス13分、JR王子駅よりバス5分)

主催 学校給食と子どもの健康を考える会

参加費 予約1000円 当日1200円

託児 1歳6ヶ月以上 保育料500円

(一週間前までに申込・乳児は膝の上で)

問合せ先

あんふぁんてホームページアドレス <http://>

! <新事務局の地図>

☆当会について詳細を知りたい場合、封書に〒・住所・氏名・☎を明記し、切手四百円分(なるべく少額切手)を送って下さい。入会希望の場合はなるべく会費六ヶ月分(三千円)以上まとめて、郵便局の振替口座に払込んで下さい。

第283号 (毎月1回5日発行)
2002年11月5日発行
(1975年7月26日初刊発行)

あんふぁんて 11月号

発行人 /
発行所 / あんふぁんて出版部

電 (☎平日12時~2時それ以外FAX)
定価 / 500円
振替口座 /
加入者名 / あんふぁんての会

©本誌掲載記事の無断転載を禁じます。